

【株式相場レポート】

～戻るには戻ったが～

	30日終値	前週末比
日経平均(円)	22,351.06	+704.51
ドル(円)	113.40-41	+0.39
NYダウ(ドル)	25,338.84	+1,052.89
長期金利(%)	0.085	-0.017
NY原油(ドル)	51.45	+1.03

※NYダウ・NY原油は29日終値、ドル・長期金利は30日15時現在

今週の総括

★米株価と円安の後押しを受けて回復も、先の見通しはまだ見えにくく、上値が重い印象

今週のプラス材料

- ・米FRB議長講演後、米利上げ停止観測(米株価が上昇)
- ・米年末商戦、出だし好調
- ・訪日客数10月:前年同月比プラスに回復

今週のマイナス材料

- ・半導体市場統計:2019年見通しを引き下げ
- ・原油価格が下落、NY原油が1バレル50ドル前後で推移
- ・米中通商摩擦:追加関税の可能性など緊張続く

今週の日経平均は、5日連続で小幅上昇が続き、前週末比704円高で引けた。

米株式市場において、米年末商戦のスタートとなる23日の小売売上高がネット通販を中心に好調だったことや、米FRB議長の講演後に米利上げ停止時期が近付いているとの観測から過度の金利上昇が回避される期待が広がったことで、株価が大きく回復した。さらに為替レートが1ドル113円台の円安となったことも好材料となり、日経平均は回復基調となった。しかし、上昇幅はNYダウよりも小さい上に、海外投資家が参考にしやすいドル建てでみると、ほとんど回復しておらず、力強さを感じにくい印象。

業種別では、機械、電機に加えて、任天堂の影響が大きいその他製造業、原油安がプラス影響となる海運の上昇幅が大きく、非鉄、通信も高かった。円安よりも先週まで大きく下落していた反動という側面がある印象。一方で、先週まで先行して上昇していた電力・ガス、空運が売られ、食品、鉄鋼、金融、陸運、食品などが弱い。またNT倍率が年初来高値圏の13.4倍台に乗り、TOPIXグロース指数が同バリュー指数を上回った。

来週以降の見通し

★米中首脳会談・米FOMC次第か

日経平均想定レンジ **21,500～23,000円**

来週以降の注目材料

- ・米中首脳会談の行方
- ・米FRBの次回及び2019年の利上げ見通し
- ・OPECの減産に向けた動き
- ・2019年の見通しに関する報道・レポート

リスク要因

- ・米政権の動き/関連報道
- ・原油価格(イラン動向含む)と為替市場の乱高下
- ・北朝鮮動向、トルコ動向、イスラエル・シリア動向
- ・米国、中国、欧州の各地域経済の減速リスク

来週の日経平均は、週末のG20の行方次第で、上にも下にも大きく振れる可能性があるだろう。

金融市場への影響という点では、米中両首脳の間で動きが注目される。両国の通商摩擦に関し、何がしかの歩み寄りが見られるのか、何も進展が無く、逆に追加の報復措置に向けた動きとなるのか、行方次第で株価は逆の動きとなるため、開催前の今日の時点では方向性が読みにくい。

もう一つの注目点は、日本時間19日夜に予定されている米FOMC。市場予想では、今回利上げに踏み切る可能性は高いが、注目は19年以降の利上げ方針。今週のFRB議長講演などで「金利は中立水準をわずかに下回る」と表現したことで、利上げが打ち止めとなる可能性が指摘され始めた。利上げ停止となれば、日米金利差が広がらなくなることで、さらなる円安が期待できなくなり、円高・株安の可能性が高まることになる。米FOMC直後の米長期金利とドル円レートの反応に注目しておきたい。

あと、急落した原油価格も市場心理への影響が気になる。米リグ稼働数は価格下落後も増えており、ダブつき懸念は解消されていない。OPECの減産協議の行方に注目したい。

次頁にコラム「徒然なるままに」

徒然なるままに

最寄駅まで路線バスに乗っているのだが、毎日乗っていると運転に個人差があると感じることもある。今朝の運転士は運転が荒かった。というか下手だった。赤信号で止まる際の最後が急ブレーキ気味で、立っている乗客は、毎回ふらついていた。緩い曲がり角が2ヶ所あるが、曲がる途中で止まってしまい、恐る恐る曲がっていた。

ちなみに「揺れない運転」で有名なバス会社がある。徳島県を拠点とする海部観光で、同社は1台にわずか12席という豪華深夜バスでも有名な会社なのだが、「揺れない運転」でも定評があるそうだ。運転士は全員、500mlのペットボトルに水を半分ほど入れ、それを倒さずに運転する訓練を受けているという。ちなみにほとんどの運転士が靴を脱いでいるそうだ。彼らの運転は「山道でも酔わない」と評判らしい。

運転の個人差は、タクシー運転士の方が大きいかもしれない。運転の荒い運転士に出会うことは少なくない。急いでいるときはありがたいが、運転が荒すぎて気持ち悪くなったことが何度もある。乗り始めてヤバいと感じたときに、「急いでないので、ゆっくり行って下さい」とお願いしても、特に変わらないことも多い。お客の私が急いでなくても、運転士さんは急いで目的地に行き、次の客を見つけたいのかもだが、そもそも、運転する人は後部座席の人の乗り心地が想像できないからだろうと思う。

そういえば最近、外国人のタクシー運転士に出会った。日本語が多少たどたどしかったが、会話自体は普通に通じて問題なかったし、運転も言葉づかいも丁寧だった。増え続けるインバウンドのためにも、人手不足解消のためにもいいことだと思う。

荒い運転で思い出したのがあおり運転。最近は報道されることも増えた。そのせいもあるのだろう。最近はドライブレコーダー(ドラレコ)の売り上げが伸びているようだ。保険会社でも、事故と同時に録画が保険会社に送信されるドラレコを準備する動きもある。ドラレコが普及することであおり運転防止につながることを期待したい。

ちなみに自転車もおられることが多い。車道の端は砂利があり、斜面だったりするので、少し内側を走るのが安全なのだが、クルマにはそれが気に食わないらしい。速い自転車は時速30~40km、原付バイクと違ってもらうとお互いスムーズなのだが。

リスクおよび手数料等の説明

株式取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。

- 株式取引の委託手数料はインターネット経由の場合1日の約定代金の合計により決定し、100,000円(税抜)が上限です
- 上場有価証券等書面、取引規程、取引ルール等をご覧いただき、内容を十分ご理解のうえ、ご自身の判断と責任によりお申込みください
- 口座基本料は個人の場合には原則無料です
※各種書面の郵送交付には、年間1,000円(税抜)をご負担いただく場合があります
- 本レポートは、当社が信頼できると判断した情報に基づき記載されていますが、その情報の正確性および完全性を保証するものではありません
- 本レポートは、お客様への情報提供を唯一の目的としたものであり、投資勧誘を目的として作成したものではありません
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします
- 本レポートに掲載された情報の使用による結果について、当社が責任を負うものではありません
- 本レポートに掲載された意見や予測等は、レポート作成時点の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります
- 本レポートの一切の著作権は当社に帰属します。いかなる目的であれ、無断複製または配布等を行わないようお願いいたします

次回発行予定：12月7日(金)17:00以降

業者名等 松井証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号
加入協会名 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会